公益財団法人水産無脊椎動物研究所

 **2022年度　育成研究助成**

 **応募申請書**

公益財団法人 水産無脊椎動物研究所　　代表理事 池田 友之 殿

下記のとおり貴財団の育成研究助成募集に応募します。 年　　　月　　 日

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ふ り が な氏　名 |  | 西暦　　　　　年　　　月　　　日生 |
| 自宅住所 | 〒 |
| 所属先・および学年 |  |
| 所在地 | 〒 |
| メール |  |
| 携帯電話 |  |
| 学　歴 | 　　　年　月　　　　　大学　　　学部　　　　　　学科卒　　　年　月　　　　　大学大学院〇〇課程入学　　　　　　　　　　　　　　　研究科　　　　　　専攻　　　　（不要な項目は削除してください） |
| 研究課題 |  |
| 申請金額 | 1年目　　　　　　　　　　　　円　 | 　2年目　　　　　　　　　　　　円 |

（郵便物希望送り先： 自宅 ・ 所属先 ）

|  |
| --- |
| １．研究目的 |
| ２．研究内容 |

|  |
| --- |
| ３．研究計画　１年目　２年目 |

|  |
| --- |
| ４．現在までの研究とその成果 |
| ５．国内外の関連研究 |
| ６．他機関からの助成等の有無 |

１年目の助成金の使用計画　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　千円単位

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科　目 | 内　訳 | 金　額 | 備　考 |
|  |  |  |  |
| 合　計 |  |  |  |

２年目の助成金の使用計画

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科　目 | 内　訳 | 金　額 | 備　考 |
|  |  |  |  |
| 合　計 |  |  |  |

科目は、旅費・備品・消耗品・その他の経費等に分け、内訳は具体的に記入してください。

**推　薦　書**

年　　　月　　　日

公益財団法人　水産無脊椎動物研究所　代表理事　 池田 友之 殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　所属

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　職名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名

貴研究所の育成研究助成の候補者として下記の者を推薦します。

|  |  |
| --- | --- |
| 申請者の氏名と所属 |  |
| 研 究 課 題 |  |
| 申請者との関係 |
| 推薦する理由 |

**育成研究助成申請書**

**記　載　要　領**

Ⅰ　注意事項

1. 記入事項は要領よく取りまとめて出来るだけ所定の欄内に記入して下さい。所定の枠の変更はご遠慮下さい（文字サイズ、行間等で調整のこと）。
2. 研究期間と予算を考慮して申請してください。過大な目的や計画にする必要はありません。
3. 応募締め切り：**2022**年**1**月**7**日（金）［24：00必着］
4. PDFファイルに変換し、メール添付でお送り下さい。

Ⅱ　項目別留意事項

①応募申請書

・研究課題は、研究の内容を具体的に記入して下さい。

・学歴は、現在までのものを記入し、次年度に大学院入学が決まっている方は、見込みとして所属先を記入してください。

②各項目について

1)研究目的:研究の背景および狙い、研究期間における到達目標、その研究による

波及効果などを具体的に記入すること

2)研究内容：上記の目的を達成するための研究の内容を具体的に書くこと

3)研究計画：研究の内容に沿った具体的な実施計画を、年次別に、助成金使用 計画との関連が分かるように記入すること。

研究期間内で実施可能な内容を記載すること。

**【新型コロナウイルス感染症の影響について】**

引き続き影響を受けることが予想されます。考慮した計画を立て、フィールド調査等が実施できなかった場合の代替案がある場合は合わせて記入してください。

（枠内に収まらない場合は代替案を別紙にて記載していただくことも可能です）

4)現在までの研究とその成果：自分のこれまでの研究の経緯、得られた成果、

発表論文などを書くこと。

＊採捕に係る許可やABSに関する手続きの状況等、必要があれば記入すること。

5)国内外の関連研究：申請課題に関連する国内外の研究の現状、到達点などを 記載のこと。

6)他財団等の助成の有無：

過去2年以内に、科学研究費補助金や他財団の助成などを受けた場合、その団体等の名称、課題名、金額を記入のこと（共同研究も含む）。

現在申請中の助成等がある場合は、その名称と課題名を記載すること。

＊他機関からも類似した助成が採択された場合は、必ずご相談ください。目的や実施内容が異なる場合、並行して進めることは可能です。調査等で複数の資金を合わせて利用する場合は、内容をお知らせしていただきます。

③助成金使用計画

・申請金額は1年間に100万円を上限とする。

・使途について年次別に具体的に書くこと。

・旅費については、行き先までの概算を計算して記載すること。

・備品（5万円以上の実験機器等は備品に含めること）については、予定しているものを全て記載すること。

＊原則として汎用性の高い機器類の購入は認めておりません。

また、研究課題に直接必要ではないもの、研究室の環境を整備するための備品などには使用できません（下表を参照）。

採択決定後の変更は承認が必要です。

|  |
| --- |
| 助成対象とならないもの（例） |
| ・出張にともなう日当や食費・汎用性の高い電子機器（パソコン、タブレット、カメラなど）・ダイビング器材・ダイビングライセンスや免許などの取得費用・学会の年会費・保険やメンテナンス費用・電気代等の光熱費 |

④推薦書について

大学院研究科の指導教員（またはそれに準ずる方）の推薦書を添付して下さい。

推薦者の氏名は自署もしくは押印をお願いします。推薦書はスキャンしPDFにしたものでも可とします。PDFでの提出ができない場合は、事務局（募集要項参照）へ郵送でお送りください［1月7日必着］。

以上